―(株)アピコ 管理 NO. 011-02

HTC社(スェーデン)ツイスターフロアーコンディショナー

6/18/2008 版

1. 製品識別

製品名: ツイスターフロアーコンディショナー

使途: 床洗浄剤

供給業者: ㈱ビーアイ・コーポレーション

住所: 〒274-0816 千葉県船橋市芝山6-62-12

電話番号 : 047-464-1462 FAX番号: 047-464-1477

2. 成分情報

	成 分	CAS NO.	含有量(%)
•	石 鹸	-	$15\sim30\%$
•	非イオン界面活性剤	-	5 %未満
•	香料	-	5 %未満
•	水	7732-18-5	$60 \sim 80\%$

3. 物理的/化学的特徵

物理的状態:液体色:無色濃度 (kg/l):1.02pH (濃縮):10.5粘度 (mPas)::350

4. 火災及び爆発の危険データー

消火剤: 周囲の可燃性物質を考慮に入れ消火剤を選択する。

火災・爆発の危険性: 本製品は可燃性ではない。

防護衣服を着用する

5. 安定性及び反応性

安定性: 通常に取扱われ保管された場合安定である。

混融危険物質:該当なし 危険毒性:該当しない

6. 健康危険データー

本製品は健康及び環境への有害がある、また、可燃性と分類されない。目や皮膚へ接触すると炎症を引き起こす場合がある。

救急処置

吸入: 外気へ移動する。

皮膚の接触: 汚れた衣類を脱ぐ。肌を水で十分に洗う。

目の接触: 目をたくさんの水で十分洗い流す。目を大きく開きまぶたを押さえて洗い流す。コ

ンタクトレンズを着用していれば取り外す。炎症が残る場合、病院で診察を受ける。

口からの体内摂取: 口の中を十分洗い、コップに数杯水を飲む。

一般: 不安や炎症がある場合病院で診察を受ける。意識のない人に絶対に水を飲ませず、

温かい状態にし落ち着かせる。

毒性情報

吸入: ガスは発生しない

皮膚の接触: 皮膚に炎症を起こすことがある

目の接触 目の接触で炎症を起こすことがある

口からの体内摂取:口からの体内摂取で不快症状を起こすことがある

7. 安全な取扱い及び使用のための予防措置

廃棄への配慮

廃棄物処理方法: 本製品の廃棄物は危険廃棄物の性質はない。廃棄情報は地方自治体に連絡をとる。

梱包: 中身がついた梱包は本製品の廃棄物と同じ要領で取扱うこと。中身が空できれいにさ

れた入れ物は廃棄物の再利用をすることもできる。

偶発的放出時の対策

個人対策: 第7項に記載される安全対策に従う。

環境対策: 排水システム、用水路、又は水路への大量排水を避ける。

清掃方法: 砂や土、あるいは蛭石などの不燃性物質で封じ込み、吸収する。密閉可能で適切な容

器に集め、適切に廃棄(第7項参照)するため置いておく。少量の放出の場合、たく

さんの水で洗い流す。

8. 取扱い及び保管上の注意と露出制御

取扱いと保管

取扱い:漏出、皮膚・目の接触を避ける。通常の工業労働慣例に従う。取扱中の喫煙・飲食はしない。作業なり取りと表現の作業が完了後は毛が進る。必要に皮がて作業業の業績を表現

業を中断する際や作業が完了後は手を洗う。必要に応じて作業着を着替える。

保管: 密封された元の梱包に直立状態で保管する。凍結の危険のない場所に保管する。保管期間は3

6ヶ月。

露出制御

露出制御: 直接皮膚や目への接触を避ける。作業の中断時や作業終了後は手を洗うよう注意する。

汚れた衣服を脱ぎ、使用する前に洗濯する。作業場近くに容易に利用できる水道設備があること。作業場と作業方法は、製品との直接接触を避けるよう手配されなければ

ならない。

個人の注意事項: 手の保護-長時間あるいは度重なる皮膚への接触がある場合、適切な保護手袋を着用

する。

目の保護ー飛散の危険がある場合、保護ゴーグルあるいはバイザーを着用する。

皮膚の保護ー適切な保護服を着用する。

9. 環境影響情報と輸送上の注意

環境保護情報

分解: 本製品の有機含有物は簡単に生分解する成分です。

生態毒性: 本製品には環境に影響はない。このことは、損害あるいは妨害的影響を及ぼす大量又

は無制御な流出を防ぐわけではない。

輸送情報

車・鉄道による輸送 (ADR/RID): 危険な貨物ではない

船による輸送 (IMDG): 危険な貨物ではない

飛行機による輸送 (IATA-DGR): 危険な貨物ではない

その他の情報

この書類に記された情報は弊社の現在の最新情報によるものであり、健康・安全・環境保護の目的のためのみに作成されている。この情報は本製品の規格、あるいはいかなる性質の補償と見なされるべきものではない。

10. 適用法令

全成分名称、CAS番号について公開されていませんが、本製品は日本の国内法(化学物質管理促進法、労働安全衛生法、毒物劇物取締法(GHSの考え方を条文内にすでに取り込んでいます))の規制に該当する成分は含んでおりません。

以上